

キアシドクガ

春にミズキの葉を食害するケムシ（幼虫）。最大長約40mm。体は黒く、黄色の斑紋がある。蛹は黄色、葉の中にみられる。ドクガの名は付くが毒はない。森林や公園などでまれに多発する。



1. 幼虫. 1996/6/20. ミズキ.



2. 幼虫を食べるクモ.

【学名】 *Ivela auripes*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera), ドクガ科 (Lymantriidae)

【分布】 北海道, 本州, 四国; シベリア南東部, 中国.

【生態】

年1世代。卵越冬。春に幼虫が孵化する。小さな頃は主に葉の裏側で食害するが、成長すると葉を巻いて巣を作る。6月に葉間などで蛹になる。蛹は1週間ほどで成虫になる。成虫発生時期は6～7月。雌成虫は幹の表面に卵を数十個かためて産む。

発育ステージ	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11～
卵 (越冬)	+++	+++	+..		..+++	+++	+++	+++	+++
幼虫 (摂食)			..■■■	■■■■	..				
蛹				..◇◇	◇◇..				
成虫				..	○○○	..			

【被害と防除】

葉を食害された木が枯れた記録はなく、2～3週間もすれば緑を回復する。多発は1年で終わるのが普通である。森林では防除は普通必要とされない。

街路樹などでは幹上に黒い卵の塊を産むので、夏から冬の間は卵塊を取り除いて駆除する。

農薬による駆除が必要と判断される場合、使用できる農薬としては、庭木のケムシ類用のレスメトリンのエアゾル（スプレー）、一般樹木（林木）のドクガ類用のMEP乳剤などがある。農薬は取り扱い説明書にしたがって使用し、通行人や近くの住民らに十分配慮すること。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

北海道立林業試験場・緑化樹センター

キアシドクガ dokuga/kiasido/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/17.

yochu1.jpg

「写真1」 佐々木満, 森林整備課, 1996/6/20.

tenteki1.jpg

「写真2」 撮影者不明.